

桑園におけるキボシカミキリの発生消長

誌名	神奈川県蚕業センター試験研究報告
ISSN	0388824X
巻/号	15
掲載ページ	p. 61-62
発行年月	1986年12月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



(資 料)

桑園におけるキボシカミキリの発生消長

Kengo SAKAMOTO

坂本 堅五

当初桑園におけるキボシカミキリの発生消長を調査し、昭和51年、53年と比較したので報告する。

調 査 方 法

1. 調査場所

神奈川県海老名市中新田、神奈川県蚕業センター桑園

2. 調査桑園概況

(1) 桑品種：しんいちのせ

(2) 樹 齢：8 年

(3) 調査面積：4アール(72株×4畦)288株

3. 調査方法

5月から12月までの毎月、原則として5、15、25日の午前9時から10時に、2名で一株づつ、くまなく成虫を捕獲し、その数を記録した。

4. 昭和51年、53年の成績

当センター研究報告7号の成績より、樹齢11年のものを用いた。

調 査 結 果

1. 発生の時期は、6月中旬から始まり、12月上旬までであった。

2. 発生数は、9月下旬から急激に増加し、10月上旬がピークで、10アール当り218頭まで達した。

3. 昭和51年、53年に比較して、9月～11月の発生数が非常に多かった。

4. 桑園の一斉消毒・捕殺を行った後は、急激に数が減ったが、一か月後には再び増加した。

第1表 キボシカミキリ成虫の発生消長

(10アール当り頭数)

調査月日 年次	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	5 15 25	5 15 25	5 15 25	5 15 25	5 15 25	5 15 25	5 15 25	5 15 25
60	0 0 0	0 20 20	13 5 13	欠 28 53	50 83 138	218 [*] 65 55	103 108 45	15 0 0
(53)	0 0 1	9 38 13	26 35 18	24 47 29	20 25 31	41 30 47	18 5 4	- - -
(51)	0 0 1	2 2 6	1 3 4	7 11 16	9 24 19	31 11 5	3 2 2	- - -

*桑園の一斉消毒・捕殺を行った後の成績

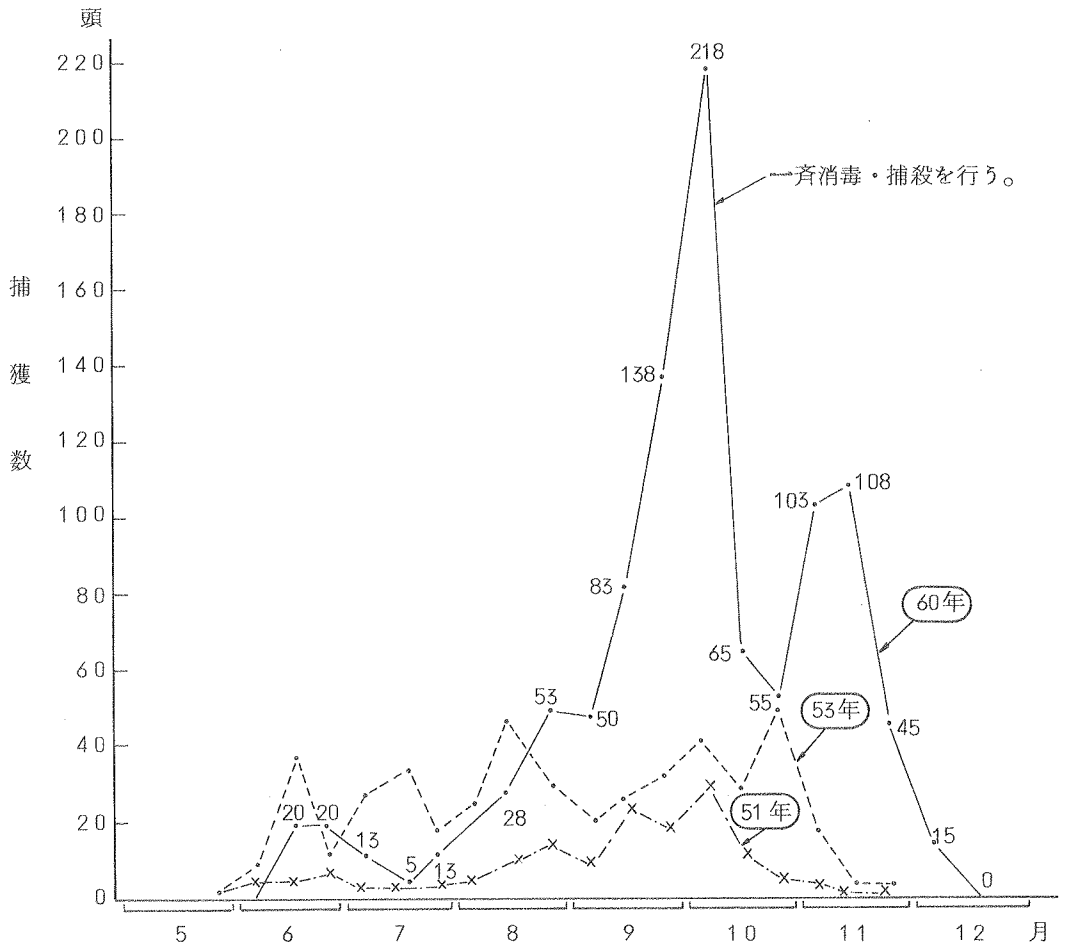


図1. キボンカミキリ成虫の発生消長(10アール当り)